

令和 7 年 3 月 15 日

学校法人さくら学園 さくら幼稚園 園長
学校法人さくら学園 さくら幼稚園 学校関係者評価委員長

1. 園の教育目標

建学の精神である『こころとからだの健康づくり』を踏まえ、一人ひとりを大切にした豊かな環境をめざし、その中で育ってほしい子ども像を掲げました。

- *生き生きとして明るく、思いやりのある子ども
- *友だちと一緒に楽しくあそぶことのできる子ども
- *あそびや生活の中で、自分で考え、行動し、試し、工夫してやろうとする子ども

2. 今年度の重点目標

- *子ども達の、なぜ？どうして？を大切にし、子どもと同じ目線に立って保育する。
- *未来に向かって育っている子どもの将来を見据えた『今』を大切にした保育
- *その子の良さや可能性を引き出す保育
- *子ども達も保護者も安心して園生活を送ることができる幼稚園

3. 評価

項目の達成及び取り組み状況 （評価点 A 十分に成果あり B 成果あり C 少し成果あり D 成果がない）

評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
	評価点	取り組み状況・反省と改善策	評価点	評価理由・意見
①教育活動が年齢やクラスの実態に合わせ子ども達にとって楽しく充実したものになっていたか	A	○子ども達の発達段階をしっかりと把握し、“今の姿”をよく見極めながら楽しく取り組むことができるよう教材研究したり、自由に選択し、考えて活動できる環境作りに努めることができた。 ○子ども達が興味・関心を持っているものは何かを考え、遊びや製作等に取り入れるよう心掛けた。「楽しい」「やりたい」という声が聞こえ、笑顔や意欲のある姿を見ると楽しく充実したものになっていたと思う。 (次年度に向けて・改善策) ○今年度同様子ども達の姿をしっかりと把握し、教師間で話し合いながら活動を考えていきたい。 ○子どもから生まれる遊びや、やりたいことが十分にできる時間の確保、毎日楽しみを持ちながら登園できるよう、子ども達の負担にならないように行事や活動の取り組み方を見直すことも必要に感じる。	A	・季節の行事を多く取り入れ、年齢に合わせて出来ることを考えてくれていた。子どもたちがいつも楽しく取り組んでいたと思う。 ・家でも幼稚園で覚えてきたことを教えてくれるので、親も学ぶことが多い。

②子どもたちの安全に気を配り安心して生活が送れるよう環境構成や言葉がけを行っていたか。	A	○手洗い・うがい、水分補給や衣服の調節などの声掛け、また一緒に行ったり、時間を十分とるなどして感染予防を行った。年長になると自然と身につき丁寧に行えるようになったと感じる。 ○動きが活発になると戸外でも室内でも怪我が増える。また、少し難しいことにもチャレンジしたりすることもある為、目を離さず安全に遊ぶ事ができるよう配慮してきた。 ○年齢が低くなると靴の履き違いなど小さな事でも怪我が繋がったりする。また手を出す等のトラブルからの怪我也起こりがちである。自分で気づけるよう繰り返し伝えたり、小さな事や環境も配慮した。 ○具体的になぜ危険なのか、約束がなぜあるのか一緒に考え、子ども自身が意識し気をつけられるよう言葉をかけた。しかし、制限しすぎると楽しさが半減する為、難しいところもある。気をつけて声をかけていても怪我をしたり、とっさの行動や予測が難しいこともあった。 (次年度に向けて・改善策) ○ひとり1人の性格や動きを把握し、何か起きてしまうかもしれないという思いで、安全面に配慮していきたい。 ○遊具や木の枝等の自然物含め、死角になる場所など職員間で危険箇所の共有を大切にしていく。 学期ごとなど頻繁に環境の再確認や構成をしていきたい。 ○年々変わる気候の変化(猛暑・酷寒など)の対策をしていく。明確なルールを作っても良いのではないだろうか。	A	・先生たちの環境配慮は十分に行き届いていると思う。子どもの防犯強化のために設備費を導し、玄関入口をオートロックにしたり砂場の柵を高くするなどの対策をしてもいいのではないか。 ・家では食べないものも、幼稚園の給食は美味しいと好き嫌いなく食べてくれる。物価も高騰しているし、給食費をあげても構わないので、色々な食材を取り入れてほしい。
③子ども達に寄り添った援助や年齢に応じて育てほしい姿を伸ばすことができるか	A	○個人差をふまえ、ひとり1人の課題を見つけ考慮しながら援助してきた。結果だけでなく過程を認め、褒めたり共に喜び合うことで自信を持てるように心掛け、子ども達になりに伸びた部分が多くみられたと思う。 ○子どもの姿を共有し担任の思いを理解しながら、進める方向性を相談していった。「ここが伸びて欲しい」という願いを学年内ですり合わせクラス間の中継を努めた。 (次年度に向けて・改善策) ○今年度同様ひとり1人に見合った援助をしていく。その為にも情報を共有しながら職員同士の話し合いや連携を今後もとっていき、心理カウンセラーなど外部の方に相談したり、研修する時間も大事にしたい。 ○子どもを取り巻く環境は変化している事が遊びを見ていてもわかる。(ネットやゲーム中心)家庭と連携をとったり、園でしかできない事をたく	A	・個々の成長に合わせ、その子にあった対応をしてくれている。過程をほめてくれているので自信につながり、苦手だったものにチャレンジする姿が多く見えた。

		さん経験することで子どもたちを伸ばしていけるようにしたい。		
④他の教職員と情報を共有し、意見交換をしながら教育活動を実施しているか。また、学期ごとクラスの課題を見直すことができたか	A	○その日の出来事や子どもの様子、今後のクラス・学年の運営について話し合う時間を多く取ることができた。また終礼を通し、他の学年の様子や子どもの姿を共有し、園全体で子ども達の成長や性格を共通理解しながら教育活動を進めることができた。 ○担任と連携が日々取れている。些細な事でも相談しアドバイスをもらったり、見落としがないよう伝えあったり、時には子育て経験者という立場から担任に伝える事もある。一步引いた目線から感想・様子を伝える事は大切だと感じる。 （次年度に向けて・改善策） ○こまめな情報交換や子どもへの共通理解ができるよう、密なコミュニケーションを図っていく。できれば終礼の時間だけでなく、保育後に話し合える時間をもう少し確保できたらと思う。	A	・先生たちは細かく気にしてくれているので安心できる。日々の出来事を担任の先生以外のすべての先生が共有してくれている印象。
⑤子どもの園での姿や育ちに関することを保護者に伝えたり、相談相手になったりして情報交換を図っていたか。	B	○成長したところ、今頑張っていることなど小さな出来事でも登・降園時や手紙、電話、面談など話す時間がある時は積極的に話をするように心掛けた。また保護者と話す時は柔らかな雰囲気を中心、相談事も解決して終わりではなく、その後の様子も伝えるように努めた。 ○まだうまく園での出来事が伝えられなかったりする子もいるが、インスタグラムやさくらだよりに写真を入れるようになったことで、様子が伝わることもあったと思う。しかし、保護者がどのように感じているのかわからないところがある。 ○保護者の中には仕事をしている方も多く、アンケート結果を見ると園での様子を十分に知れていないという保護者もいた。相談するタイミングがなかなか取れず聞きたいことが聞けない状況にある方もいるのかもしれない。 ○園と家での姿の違いに戸惑う保護者もいると思うので、伝え方の難しさは感じる。教師の思いと保護者の思いを共有させることは大切だが、心配や不安を表情に出さない方もいたと思う。 （次年度に向けて・改善策） ○思いやりを持って考えなければ、園側の意見も受け入れてはもらえないと思う。家庭内のことなど、触れてはほしくないこともあると思うの	A	・毎年、家庭訪問があり新しい担任の先生と話す機会を設けてくれるのは嬉しい。面談も先生と話す機会があるので相談しやすい。 ・インスタを開設してくれたので、幼稚園の姿が見れて嬉しい。 ・相談したいことがあると先生も都合をつけて対応してくれたり、一緒にどうしたらいいか考えてくれるので本当にありがたい。相談したいけどしづらいという人向けに、さくらだよりに、相談があればご連絡くださいなど載せてもいいのかなと思う。 ・雨の日の一斉メールを復活してほしい。

		で、誤解が生まれないよう、保護者の気持ちをしっかりくみ取り、言い方や表情にも十分注意したい。また、担任と担任以外の職員などで思いのズレがないよう、共通理解も十分に行うよう気を付ける。 ○保護者によって情報交換に差がないよう心掛け、些細な事でも幼稚園での姿を伝えていく。		
--	--	--	--	--

4、自己評価、総括・特記事項

○職員全員で子どもに関わり楽しい、おもしろい経験が一緒にできている。子どもの思いに共感して保育を行うことで、一人ひとりの良さや成長に感動したり、かわいい姿にたくさん出会えた。幼稚園は子どもたちの味方で安心できる場所でありたいと思う。 ○以前は他の学年の仕事を手伝うなど周りの学年への配慮や思いやりができていたが、そういう余裕や意識が減ってきているように感じる。情報の共有はできているが、教師が時間に追われる傾向があるので、行事や一斉の活動に対し、本当に必要かその都度見直していきたい。 ○SNS や写真の利用、ホームページの開設などの利用で園の様子を感じてもらえるようになり良かった。パソコンやネットが苦手な職員が多いので、デジタル系の研修など基礎を学ぶ場がないだろうか。もっと頻繁に利用できると良いが、なかなか時間が取れず難しいところがある。次年度はもっと活用できるようにしたい。
--

5、学校関係者・評価委員からのコメント

災害が起きたことも考え、一斉メールをさくら幼稚園で出来るようにしてほしいです。 保育料など値上げをしてもいいので、アプリ等を導入しデジタル化に移行出来るものはしていった方がいいと思います。 先生たちの負担になってしまうが、卒園した園児と先生が遊ぶ機会を設けてもらえると嬉しいです。 子どもたちだけでなく、親もさくら幼稚園を卒園したくないと思えるほど、素敵な幼稚園に出会えたと思っています。
--